

シリーズでお送りする「歌える自分」に進化できる講座

声の悩みを
解決しましょう

うまく歌える 「からだ」のつかいかた

《新シリーズ第1回》
No. **20** in 倉敷

日時：2018年10月6日(土) 14:00-16:00

場所：♪倉敷市芸文館・第2練習室♪

JR倉敷駅より徒歩約10分(有料地下駐車場有り)

(倉敷市中央1-18-1 TEL:086-434-0400)

特集：♪ヴィブラート 受講料：3,500円

後援：岡山県、倉敷市教育委員会、朝日新聞岡山総局、山陽新聞社

講座内容

新シリーズ第1回は【特集】ヴィブラート。特に合唱では悪者にされることの多い“ヴィブラート”ですが、本来“ヴィブラート”は歌声に必要なもので、適切な“ヴィブラート”がついているとハマりやすいことも、医学的にわかっています。また、オペラの世界では「日本人の声は響きが少なく、サイレンのように聴こえる。平べったく硬い」と欧米では指摘されることが多く、“ヴィブラート”を付けるように指導されます。しかし、ここで注意したいのは、必要な“ヴィブラート”と不健康な“声の揺れ”はまったく別ものだということです。それらの違いを明確にしながらからだ全体を活かした新しい練習方法を探ります。

♪内容に沿った疑問をお持ちの方で、講座内で演奏してくださる方を数名募集します。

♪どなたにでもわかりやすい内容となっていますので、ご遠慮なくお越しください。

♪同名の本と【新刊】の実践編(裏面参照)が参考テキストです。講座当日にも、お求めいただけます。



川井弘子 (かわい・ひろこ)

ドイツ・オランダ・アメリカに学んだソプラノ。演奏家であり、ティーチング・アーティスト。2001年に、アメリカでボディ・マッピングの指導資格を取得後、「生きているからだ(Soma)」で歌う感覚を育てるソマティクスに注目。イタリア式、ドイツ式などにかかわらず、Somaの感覚を取り戻し、「歌う楽器として育てる」方法を普遍的に解説。歌って、ソマティックに教える異彩ある声楽家。解剖学を取り入れた明解な発声と個性を大切に音楽表現の指導法は、多くの悩める歌手たちの注目を集めている。倉敷市出身、広島大学・東京学芸大学大学院修了。地元倉敷をはじめ、東京・大阪で、毎月レッスンをやっている。

WEBサイト:

<http://www.hirokokawai.com>

今後の講座

*新シリーズ第2回 2018/12/2(日) 特集：音程と響き

「ピッチが下がる時、さてどうする?」と「響かせるには?」「肋骨と蝶形骨」

*新シリーズ第3回 2019/2/10(日) 特集：歌うささえ

「“歌う準備”“歌うささえ”とは何か?」と

「“お腹を締める”ことの弊害と効用、正しいのは?」「前鋸筋と腹横筋」

(開講時間 14:00-16:00 会場:12/2は第2練習室、2/10は第1練習室)

お問合せ・お申込み

講座のお申込み、お問い合わせは下記までお気軽に。

E-Mail: bl.kurashiki@gmail.com (担当:みのだ) Tel /Fax: 086-525-2835 (川井)

*できるだけメールでのお問合せをお願いいたします。お申込みフォームをお送りします。